

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493200156	事業の開始年月日	平成20年7月1日	
		指定年月日	平成20年7月1日	
法人名	株式会社 ウィズネット			
事業所名	グループホームみんなの家 横浜金が谷			
所在地	(241-0812) 神奈川県横浜市旭区金が谷471-1			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	平成27年1月26日	評価結果 市町村受理日	平成27年4月8日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>地域の行事の参加や社会資源の利用を重視し、「開かれたホーム」であることを目指しています。 また、入居者様だけでなく、ご家族様にとっても「安心」「安全」「安楽」なホームであるよう、ご面会の際やお電話、家族会などを通じて思いを伺い、寄り添った支援に繋げるよう努めています。</p>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成27年2月10日	評価機関 評価決定日	平成27年3月6日

【事業所の優れている点】

◇利用者の健康管理や、重度化、退院への支援
 ・入居時に「重度化した場合の対応に係る指針」を本人、家族に説明し、重度化した場合は、医師、看護師、職員が連携し、家族の意向を確認しながら支援している。
 ・看護師が毎週来訪して利用者一人一人の連絡記録と、訪問レポートを記入し、職員と利用者の健康の状況を共有している。
 ・利用者が入院した際は家族と病院に行って症状を伝えたり病状を聞き、退院に向けて服薬内容や手続きなどについて説明を聞き受け入れ準備を整えている。
 ◇一人一人の居心地良い暮らしの支援
 ・居室には使い慣れた机や椅子、テレビ、仏壇や家族の写真を持ち込んでいる。趣味の折り紙などを壁一面に飾ったり、シンプルに過ごしたい利用者の部屋には余分なものは置かないなど、一人一人の個性を尊重して、居心地よく過ごせるように工夫している。

【事業所が工夫している点】

◇理念「明るい笑顔と接遇で温もりのある時間を」を職員と作り上げ、玄関や事務所、フロアに掲げて日々確認している。理念の実現に向けて管理者が率先して利用者に笑顔で接することを職員に示し、職員は笑顔で丁寧に利用者へ声掛けして意向をくみ取り、温もりある生活の支援に努めている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームみんなの家 横浜金が谷
ユニット名	1 U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るい笑顔と接遇で、温もりある時間を」という事業所理念のもと、入居者様だけでなく、ご家族様にとってもあたたかいホームであるよう心がけています。	<ul style="list-style-type: none"> ・理念「明るい笑顔と接遇で温もりのある時間を」を職員が参加して作り上げ、玄関、事務所、フロアに掲げて日々確認している。 ・管理者が率先して利用者に笑顔で接することを職員に示し、温もりある生活の支援に努めている。 	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議で、地域の情報を共有させていただいています。日常の散歩で近隣の方とふれあったり、地域の行事には積極的に参加させていただいています。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に加入し、地域の農協祭りや地域ケアプラザの行事に参加して、地域の方と交流している。 ・事業所の周囲を散歩し、馴染みになっている野菜を直売している方と会話したり、脳トレボランティアの来訪がある。 	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の中学校から職業体験の受け入れをしています。また、地域の行事に積極的に参加することで、認知症の方の理解に繋げています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度の実施時に、貴重なご意見をいただいております。ご家族様の視点、地域の方の視点、様々な方面からの視点でとらえられたご意見を、サービス向上に反映させていただいております。	<ul style="list-style-type: none"> ・2か月に1度、家族、地域代表、地域包括支援センター職員の参加で開催し、事業所の活動状況報告後、意見交換を行っている。 ・地域のボランティア情報や避難訓練へのアドバイスがあり運営に反映している。 	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	旭区役所の担当者に、おむつ給付の相談をしたり、運営の助言をいただいたりしております。	<ul style="list-style-type: none"> ・旭区高齢障害支援課や保護課の担当者と、入居者の使える助成制度の相談をしたり、事業所の実情を説明し、助言を得ている。 ・笹野台地域ケアプラザとはいつでも相談できる体制が築かれており、行事の誘いなどの情報を得ている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1回身体拘束廃止委員会を実施し、身体拘束についての正しい理解と意識向上に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束をしないケアを徹底し、正しい理解を深めるために身体拘束廃止委員会で毎月テーマを決めて、拘束や言葉による抑制について研修している。 ・利用者の安全確保のため、玄関と各ユニット入口は施錠している。 	・利用者の安全対策や建物の構造などを考慮しながら、日中、玄関とユニット入口の開錠ができないかを検討することが期待されます。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の「安全対策委員会」や、各種研修に参加し、学ぶ機会を作っています。身体的虐待に限らず、入居者様にとって不快、不利益な言動がないよう、職員間で注意をはらっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人で推奨している研修やセミナーで、学ぶ機会を設けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時は、重要事項説明書を読み上げるだけでなく、特に重要なポイントは更に説明を加え、ご理解いただくようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、家族会を毎月交互に実施し、ご家族様や地域の方々のご意見やご要望を伺っています。また、いただいたご意見ご要望は、事業所内だけでなく、事業部にも報告、検討し、皆様の声が運営に反映できるよう努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の意見や要望は、家族の来訪時、家族会、電話連絡時などで聞き取っている。 ・入浴介助の安全対策への意見があり、利用者の状況により2人対応で行うなどの改善策を取り入れている。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のフロア会議と事業所内の全体会議を通じて、職員の発言の場を設けています。また、定期的に個々の面談を実施しています。	・管理者は毎月のフロア会議や全体会議で職員から業務の改善提案を聞き、また、本社事業部職員訪問時にも意見や要望を聞いている。 ・職員から、休憩室の使い方や入浴時の介助について提案があり、業務の改善を図った。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回人事考課を行い、社員・パートに限らず昇給の機会を設けています。また、事業所内での面談の際に、キャリアプラン、スキルアップについてヒアリングしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での研修や、外部の研修を常時案内しています。また、新入職員オリエンテーションのプログラムを作成し、進捗状況を管理しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	月1回の安全対策委員会の他、各種研修に専門職の講師を招いています。また、医療機関での意見交換会には積極的に参加しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアプラン作成の際に、ご本人やご家族様の思いを伺っています。また、職員間でカンファレンスを行い、入居者様やご家族様の思いによりそったプラン作成に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご契約の際に、入居者様の生活歴や嗜好を細かく伺うことで、ご希望や思いをうけとめ、信頼関係を築くよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実態調査の際に、ご本人やご家族様の思いやご希望を伺い、会社理念である「必要な人に、必要なサービスの提供」に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活介護の意味を念頭におき、入居者様にとって第二の我が家であるよう、理念にある「温もりのある時間」を提供しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事計画や家族会のご案内をし、手紙だけでなくお電話で参加のお願いをすることもあります。また、月1回「一言通信」を職員が手書きで作成し、入居者様の日常の様子をお伝えしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	ご友人が面会にみえた際は、居室で過ごしていただき、プライバシーを確保していただいています。また、入居者様の生活歴にそった話題を提供し、在宅と同じお気持ちで過ごせるよう支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・入居時面談や家族来訪時に馴染みの人や場所を把握し、それらを話題として利用者の話を引き出す工夫をしている。 ・友人や家族が来訪した際は居室で過ごしてもらったり、手紙の仲介をするなどの支援している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操や歌などのレクリエーションは、一つのテーブルを囲んでいただき、コミュニケーションをはかりながら参加していただいています。また、1, 2F合同のレクリエーションを定期的に行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後にご相談があった時には、できる範囲で対応させていただいています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的カンファレンスを行い、職員間の気づきを共有することで、ご本人の思いに沿ったケアの提供に繋がっています。また、ご家族様来所時は、入居者様の嗜好や情報を得る機会にしています。	・利用者の思いや意向は、日常的に発語を促して会話の機会を増やし、表情や会話から把握し、家族来訪時にも聞き取っている。 ・生活記録や申し送りノートに日々様子を記載して会議で話し合い、本人の意向を検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	時には職員が1対1で入居者様と向き合い、お話を傾聴することで思いを探り、その人らしい生活の支援をさせていただいています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録だけでなく、アセスメントやカンファレンスを行うことで、入居者様の状態の把握に努めています。また、訪問看護や往診の際に、専門職からも意見や助言をいただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとにモニタリング、カンファレンスを行い、より「その人らしい生活」が送れるようプランを作成しています。また、ご家族様のご要望は、必ずプランに盛り込んでいます。	・モニタリングは主に居室担当が行い、本人や家族の意向も聞いて会議で検討し介護計画を作成している。 ・計画は6か月ごとに見直して家族に説明して実施し、状況の変化があった場合はその都度見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録の他、ケアしていく上での気づきや入居者様の思いは、申し送り（口頭、ノート）を通じて職員間で共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人内で、共用デイサービスを実施している事業所もあり、利用者様のニーズに対応していけるよう、法人内で検討しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日々の散歩で地域の方とふれあったり、地域ケアプラザの行事には積極的に参加させていただいています。防災訓練の際には、地域の方多数にご協力いただいています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科往診と、月2回の歯科往診を行っていますが、希望される方は外部受診もされています。基本的には外部受診はご家族様対応ですが、ご家族様の事情をくみ、職員が対応することもあります。	・入居前のかかりつけ医や専門医通院は、家族対応で受診後に情報を得るほか、状況によって職員が付き添うなど柔軟に対応している。 ・内科医と歯科医の往診が月2回あるほか、毎週訪問する看護師が連絡記録を作成し、健康状況を共有して支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護連絡帳で、情報の共有をしています。連絡帳だけでなく、訪問時には職員が入居者様の状態を伝え、看護師から適切な助言や指導が受けられる体制をとっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院された際は、ご家族様からだけでなく、担当医からも直接説明をうけ、状態を把握しています。また、地域連携室の担当者からも話を伺う機会をつくっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に「重度化した場合の対応に係る指針」をご説明し、ご理解をいただいています。ご入居いただいたら状態が重度化しても、ここが「終の棲家」となるよう他職種と連携し、ケアにあたっています。	<ul style="list-style-type: none"> 入居時に「重度化した場合の対応に係る指針」を本人、家族に説明し、同意を得ている。 重度化した場合は、医師、看護師、職員が連携し、家族の意向を確認しながら支援する体制ができており、看取りの実績もある。 	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時マニュアル（緊急時マニュアル）を作成し、全ての職員に周知しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な非難訓練を実施し、消防署の指導や助言、地域の消防団の方々の協力を得ています。	<ul style="list-style-type: none"> 消防署や地元消防団の協力を得て、昼・夜間を想定した避難訓練を年2回実施し、心肺蘇生の講習も受けている。 災害時に備え、1週間分の食料、2週間分の飲料水ほか、懐中電灯などを備蓄している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	月1回の全体会議や身体拘束廃止委員会などで、入居者様の自由や尊厳を保つケアであるよう、意識向上に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇マナーマニュアルがあり、言葉遣いや接遇について会議で話し合っ合って周知し、プライバシーを損ねない、丁寧な言葉づかいで日頃から接している。 ・不適切な対応に気づいたら管理者が指導し、また、職員間で注意しあっている。 	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	介護拒否をされたり、不満や苦情を口にされる入居者様には、思いを傾聴するだけでなく、自己表現や意思表示ができる大事な残存機能であるという捉え方をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	活動（レクリエーション）だけでなく、休息の時間も提供できるよう配慮しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	モーニングケアや入浴の際は、特に整容に気を配っています。また、2か月に1回ほどの訪問理美容の際には、プチエステをご希望に応じて取り入れています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の能力や状態に応じて、食事の盛りつけや配膳を手伝っていただいています。職員が同じテーブルで食事をし、食事だけでなく会話を楽しむ時間を提供しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者はテーブル拭きや下膳、食器拭きを行い、職員は一緒のテーブルで食事し、全介助の利用者などの横について声掛けしながらペースに合わせて食事を提供している。 ・誕生会にはホットケーキを手づくりするなど、利用者の好みのおやつを提供している。 	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立で、栄養バランスのとれた食事を提供しています。また、その方に応じた食事形態の提供や、声かけで、必要量の摂取と、おいしく楽しく召し上がっていただくよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは、自立支援を尊重した上でできない部分の介助をしています。定期的な歯科医、歯科衛生士の助言、指導も受けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録をもとに、その方の排泄リズムの把握に努め、受け入れやすいトイレ誘導や安心した排泄の提供をしています。	・排泄チェック表により排泄パターンの把握に努め、利用者の動作からも察知して、トイレへ誘っている。 ・入居時から比較して、パットの使用が減少したり、トイレの誤認識がほとんどなくなった方もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量に注意し、適度な運動の声かけをしています。排便が困難な方は、医療関係者の指示のもと、排便コントロールをさせていただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	最低週2回の入浴を提供する他、ご希望や必要に応じて足浴も行っています。	・入浴は週2回以上提供し、時間や曜日の希望に応え、シャワー浴や足浴にも対応している。 ・入浴を好まない方には、対応する職員や言葉掛け、タイミングを変える工夫して誘っている。 ・菖蒲湯などで季節感を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後はご希望に応じて居室で臥床していただいたり、夕食後はフロアでTVを見て過ごしていただいたり、自由な時間を過ごしていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師より、処方箋に基づいた薬の情報、管理や使用に関する説明をうけています。情報は職員全員に周知しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を干していただいたり、掃除を手伝っていただいたり、在宅にいらした時と変わらない生活習慣を維持していただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日はできるだけ散歩や外気浴にお誘いしています。地域の行事をご案内し、参加を希望される方には外出を支援しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・天気が良い日は、車イスの方も事業所の周りや近くの畑の四季折々の農作物を眺めながら散歩している。 ・職員とおやつや衣類などの小物を買物に出掛けることもある。 ・庭のプランターの草花やミニトマトの栽培を楽しみながら日光浴もしている。 	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	月2回のヤクルトと、移動販売のパン屋の訪問で、お好みの物を選んで買物していただいています。また、散歩の際にジュースを購入したり、近隣の畑の作物を購入する機会をつくっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいとご希望があった時は、事務所の電話を使用いただき、プライバシーに配慮しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには行事の思い出の写真や、入居者様の制作作品を飾るようにしています。季節に応じて玄関先や庭に花を植えていただき、一緒に環境作りをしていただいています。	<ul style="list-style-type: none"> ・リビングは明るく清潔に保たれ、加湿器を置き、温・湿度にも配慮している。 ・正月の富士山と日の出の貼り絵、節分の豆まきの絵、クリスマスにはツリーを飾り、季節感を採り入れている。 	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのソファで過ごされる方や、気の合う方同士で窓から外を眺めながら談話されたりと、くつろいだ時間を過ごしていただいています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご希望に応じて、使い慣れた家具をご使用いただいています。座椅子や湯たんぼなど、その方の生活習慣に合った居室であるよう配慮しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・居室には使い慣れた机や椅子、テレビを置き、仏壇や家族の写真や、趣味の折り紙などを壁一面に飾るなど、一人ひとり居心地よく過ごせるように工夫している。 ・利用者はできる範囲で自室の掃除をし、担当者が手伝っている。 	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所はわかりやすいよう貼り紙をしています。ご自分の居室を認識しにくい方の居室の戸には、ご本人の顔写真を貼るなどの工夫をしています。		

事業所名	グループホームみんなの家 横浜金が谷
ユニット名	2 U

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「明るい笑顔と接遇で、温もりある時間を」という事業所理念のもと、入居者様だけでなく、ご家族様にとってもあたたかいホームであるよう心がけています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議で、地域の情報を共有させていただいています。日常の散歩で近隣の方とふれあったり、地域の行事には積極的に参加させていただいています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近隣の中学校から職業体験の受け入れをしています。また、地域の行事に積極的に参加することで、認知症の方の理解に繋げています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度の実施時に、貴重なご意見をいただいております。ご家族様の視点、地域の方の視点、様々な方面からの視点でとらえられたご意見を、サービス向上に反映させていただいております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	旭区役所の担当者に、おむつ給付の相談をしたり、運営の助言をいただいたりしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1回身体拘束廃止委員会を実施し、身体拘束についての正しい理解と意識向上に努めています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人内の「安全対策委員会」や、各種研修に参加し、学ぶ機会を作っています。身体的虐待に限らず、入居者様にとって不快、不利益な言動がないよう、職員間で注意をはらっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人で推奨している研修やセミナーで、学ぶ機会を設けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時は、重要事項説明書を読み上げるだけでなく、特に重要なポイントは更に説明を加え、ご理解いただくようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、家族会を毎月交互に実施し、ご家族様や地域の方々のご意見やご要望を伺っています。また、いただいたご意見ご要望は、事業所内だけでなく、事業部にも報告、検討し、皆様の声が運営に反映できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のフロア会議と事業所内の全体会議を通じて、職員の発言の場を設けています。また、定期的に個々の面談を実施しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に2回人事考課を行い、社員・パートに限らず昇給の機会を設けています。また、事業所内での面談の際に、キャリアプラン、スキルアップについてヒアリングしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での研修や、外部の研修を常時案内しています。また、新入職員オリエンテーションのプログラムを作成し、進捗状況を管理しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	月1回の安全対策委員会の他、各種研修に専門職の講師を招いています。また、医療機関での意見交換会には積極的に参加しています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアプラン作成の際に、ご本人やご家族様の思いを伺っています。また、職員間でカンファレンスを行い、入居者様やご家族様の思いによりそったプラン作成に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご契約の際に、入居者様の生活歴や嗜好を細かく伺うことで、ご希望や思いをうけとめ、信頼関係を築くよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	実態調査の際に、ご本人やご家族様の思いやご希望を伺い、会社理念である「必要な人に、必要なサービスの提供」に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活介護の意味を念頭におき、入居者様にとって第二の我が家であるよう、理念にある「温もりのある時間」を提供しています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事計画や家族会のご案内をし、手紙だけでなくお電話で参加のお願いをすることもあります。また、月1回「一言通信」を職員が手書きで作成し、入居者様の日常の様子をお伝えしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	ご友人が面会にみえた際は、居室で過ごしていただき、プライバシーを確保していただいています。また、入居者様の生活歴にそった話題を提供し、在宅と同じお気持ちで過ごせるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	体操や歌などのレクリエーションは、一つのテーブルを囲んでいただき、コミュニケーションをはかりながら参加していただいています。また、1, 2F合同のレクリエーションを定期的に行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後にご相談があった時には、できる範囲で対応させていただいています。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的カンファレンスを行い、職員間の気づきを共有することで、ご本人の思いに沿ったケアの提供に繋がっています。また、ご家族様来所時は、入居者様の嗜好や情報を得る機会にしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	時には職員が1対1で入居者様と向き合い、お話を傾聴することで思いを探り、その人らしい生活の支援をさせていただいています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録だけでなく、アセスメントやカンファレンスを行うことで、入居者様の状態の把握に努めています。また、訪問看護や往診の際に、専門職からも意見や助言をいただいています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとにモニタリング、カンファレンスを行い、より「その人らしい生活」が送れるようプランを作成しています。また、ご家族様のご要望は、必ずプランに盛り込んでいます。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活記録の他、ケアしていく上での気づきや入居者様の思いは、申し送り（口頭、ノート）を通じて職員間で共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	法人内で、共用デイサービスを実施している事業所もあり、利用者様のニーズに対応していけるよう、法人内で検討しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日々の散歩で地域の方とふれあったり、地域ケアプラザの行事には積極的に参加させていただいています。防災訓練の際には、地域の方多数にご協力いただいています。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の内科往診と、月2回の歯科往診を行っていますが、希望される方は外部受診もされています。基本的には外部受診はご家族様対応ですが、ご家族様の事情をくみ、職員が対応することもあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護連絡帳で、情報の共有をしています。連絡帳だけでなく、訪問時には職員が入居者様の状態を伝え、看護師から適切な助言や指導が受けられる体制をとっています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院された際は、ご家族様からだけでなく、担当医からも直接説明をうけ、状態を把握しています。また、地域連携室の担当者からも話を伺う機会をつくっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に「重度化した場合の対応に係る指針」をご説明し、ご理解をいただいています。ご入居いただいたら状態が重度化しても、ここが「終の棲家」となるよう他職種と連携し、ケアにあたっています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時マニュアル（緊急時マニュアル）を作成し、全ての職員に周知しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な非難訓練を実施し、消防署の指導や助言、地域の消防団の方々の協力を得ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	月1回の全体会議や身体拘束廃止委員会などで、入居者様の自由や尊厳を保つケアであるよう、意識向上に努めています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	介護拒否をされたり、不満や苦情を口にされる入居者様には、思いを傾聴するだけでなく、自己表現や意思表示ができる大事な残存機能であるという捉え方をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	活動（レクリエーション）だけでなく、休息の時間も提供できるよう配慮しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	モーニングケアや入浴の際は、特に整容に気を配っています。また、2か月に1回ほどの訪問理美容の際には、プチエステをご希望に応じて取り入れています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の能力や状態に応じて、食事の盛りつけや配膳を手伝っていただいています。職員が同じテーブルで食事をし、食事だけでなく会話を楽しむ時間を提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立で、栄養バランスのとれた食事を提供しています。また、その方に応じた食事形態の提供や、声かけで、必要量の摂取と、おいしく楽しく召し上がっていただくよう支援しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは、自立支援を尊重した上でできない部分の介助をしています。定期的な歯科医、歯科衛生士の助言、指導も受けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄記録をもとに、その方の排泄リズムの把握に努め、受け入れやすいトイレ誘導や安心した排泄の提供をしています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量に注意し、適度な運動の声かけをしています。排便が困難な方は、医療関係者の指示のもと、排便コントロールをさせていただいています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	最低週2回の入浴を提供する他、ご希望や必要に応じて足浴も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後はご希望に応じて居室で臥床していただいたり、夕食後はフロアでTVを見て過ごしていただいたり、自由な時間を過ごしていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師より、処方箋に基づいた薬の情報、管理や使用に関する説明をうけています。情報は職員全員に周知しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を干していただいたり、掃除を手伝っていただいたり、在宅にいらした時と変わらない生活習慣を維持していただいています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日はできるだけ散歩や外気浴にお誘いしています。地域の行事をご案内し、参加を希望される方には外出を支援しています。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	月2回のヤクルトと、移動販売のパン屋の訪問で、お好みの物を選んで買い物していただいています。また、散歩の際にジュースを購入したり、近隣の畑の作物を購入する機会をつくっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいとご希望があった時は、事務所の電話を使用していただき、プライバシーに配慮しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアには行事の思い出の写真や、入居者様の制作作品を飾るようにしています。季節に応じて玄関先や庭に花を植えていただき、一緒に環境作りをしていただいています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアのソファで過ごされる方や、気の合う方同士で窓から外を眺めながら談話されたりと、くつろいだ時間を過ごしていただいています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご希望に応じて、使い慣れた家具をご使用いただいています。座椅子や湯たんぼなど、その方の生活習慣に合った居室であるよう配慮しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所はわかりやすいよう貼り紙をしています。ご自分の居室を認識しにくい方の居室の戸には、ご本人の顔写真を貼るなどの工夫をしています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム
みんなの家 横浜金が谷

作成日 平成27年3月4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	建物の構造や、利用者など安全を考慮し、日中、玄関とユニットの施錠をしている。	施錠をする場所を作らず、利用者様が自由に行動できるホーム作りを目指す。	レクリエーションの活性化を図り、リビングが安心して楽しめる空間であるよう環境作りをする。	6ヶ月
2	10	運営推進会議、家族会に参加いただける家族が少ない。	ご家族の参加人数や回数を増やし、ご意見やご要望を運営に反映する。	ご家族に参加していただけるようなレクリエーションや行事を企画し、利用者様の日常のご様子を見ていただく機会を増やす。	6ヶ月
3	11	月1回の全体会議と各フロア会議を行っているが、勉強会、面談がすすんでいない状態。	職員の意見や思いを運営に反映させる。また、職員のスキルアップを図る。	定期的な面談を行う。また、テーマを決め、ホーム内での研修を実施し、1ヶ月に1回は受講するよう管理する。	6ヶ月
4					
5					